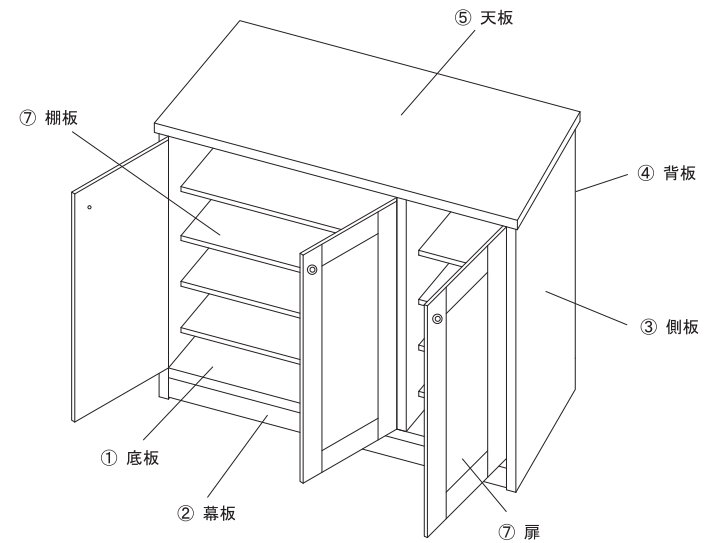


下駄箱組立て説明書

組立て前に必ずこの説明書をお読み下さい。

● 姿図



● 部材表

	サイズ	2 枚 扉	3 枚 扉	4 枚 扉
天板	400 × 800 × 30	1		
	400 × 1200 × 30		1	
	400 × 1600 × 30			1
扉	357 × 780 × 20	2		
	360 × 780 × 20		3	
	362 × 780 × 20			4
側板	390 × 880 × 30	2	2	2
	365 × 780 × 30		1	2
底板	390 × 720 × 30	1		
	390 × 1120 × 30		1	
	390 × 1520 × 30			1
背板	760 × 800 × 15	1		
	1160 × 800 × 15		1	
	1560 × 800 × 15			1
棚板	718 × 330 × 15	4		
	724 × 330 × 15		4	
	362 × 330 × 15		4	
	363 × 330 × 15			4
幕板	68 × 720 × 30	1		
	68 × 1120 × 30		1	
	68 × 1520 × 30			1
脚	50 × 350	2	2	2
取手		2	3	4
ワッシャー (取部手)		2	3	4
マグネットキャッチ (ダブル)		1	1	1
マグネットキャッチ (シングル)			1	2
木ダボ		14	19	24
脚脱着ボルト (脚部)		4	4	4
スライドヒンジ		4	6	8
スライドヒンジ用ビス		8	12	16
座金		4	6	8
座金用ビス		12	18	24
棚受けダボ		16	32	48
アジャスター		2	2	2
オニメナット		2	2	2
ラフィックス		12	18	24
シャフト		12	18	24



下駄箱組立て説明書

この度は、弊社下駄箱を採用いただきまして誠にありがとうございます。
組立て前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、組立てて下さい。

○組立て手順

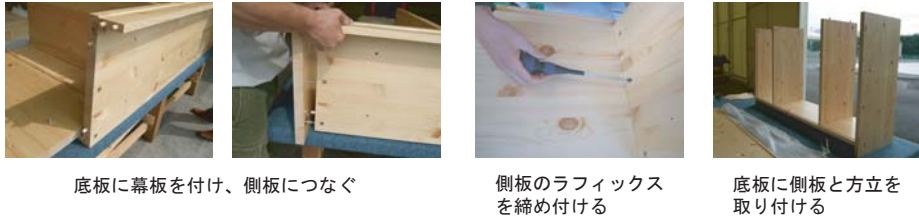
①組立ての前に、金物(種類、数)をチェックします。

②各部材のそれぞれの穴に木ダボ、シャフト、ラフィックスを入れておきます。



③組み立ての順序は以下の通りで行ってください。

- 1) 底板
- 2) 幕板
- 3) 側板・方立



4) 背板



5) 天板



6) 扉



7) 棚板



* ご注意
棚板の取り付けは受け金具を先に取り付けてしまうと棚板が入りません。まず、棚板を入れてから金具で固定するという手順で行ってください。

③完成



※ 片側をフローリングにあげて使う場合(土間との間に段差が出来る場合は)、付属の脚を使います。脚は必要な長さにカットして下さい。

